



# 福井商工会議所 「こちら」 デジタル活用 ビジネス支援センター

## 誰もが即戦力に! 発送作業の品質を保つDX



イーゲート(株) 取締役社長 野坂鐵郎さん(右)  
ネット販売チーム サブリーダー 田嶋和美さん(左)

イーゲート(株) (福井市川合鷺塚町40-10) は、女性用下着やスポーツウェアなどアパレル製品の企画・製造を行っています。2013年よりネット販売を開始、自社ブランド製品を全国展開し、福井の繊維の魅力を発信しています。同社は在庫管理システムの導入によって、製品の在庫から出荷までの管理における生産性向上を実現。その経緯を、システム導入担当の田嶋さんにお聞きしました。

### 業務の属人化と 発送ミスが課題に

当社はEC事業の展開・拡大に伴い、3300種類、40万点もの膨大な製品を取り扱うようになりまし。以前はこれを担当者が一人でロケ地(棚)や倉庫を回って在庫チェック・補充をしていました。

ECモールのセールスの時期になると受注が増え、梱包や発送作業に十分に手が回らなくなります。そこで、他の部署にも応援を依頼するのですが、どこにどの製品のロケ地・在庫があるのかを特定の社員しか把握できておらず、人数がいても作業効率



ピッキングカートもオーダーメイドで作成。業務効率化に繋がっています。

働く人を楽しんで、生産性と品質向上も実現  
WMS導入後は、出荷ミスが激減し、在庫補充に要していた時間も丸1日から1〜2時間程度にまで短縮できました。そして最大の収穫は繁忙期において、他の部署のメンバーや派遣社員の方がサポートとして入っても作業効率を落とすことなく発送することが可能になったことです。平日15時に受注受付を締めるのですが、その日の16時には製品をお客様に発送することができています。お客様に迷惑をかけることが少なくなりました。もちろんですが、「作業が楽になった」と声をかけてくれる従業員もいて、非常に嬉しく思います。



梱包時にもバーコードをスキャンしながら作業しています。発送内容が間違っていた場合、ブザーが鳴って誤発送を防ぎます。

ありがたいことに、ITベンダー側がこちらの要望に合わせてシステムのカスタマイズに対応してくれました。システム開発者と密にコミュニケーションを取り続けたことも、新しいシステムが社内に浸透するのを早めた要因になったと思います。ちなみに、ITベンダーから好事例として紹介していただき、当社現場を見学に来られた方もいらっします。

他にも勤怠管理システム、FAXや給与明細の電子化等が進んでおり、社内でデジタル化への意欲が高まっています。5月からは納品書を完全にデータ化する予定で、印刷費の大幅なコスト削減を見込んでいます。今後も現場に目を向けながら、データ化によって得られた分析結果等も活用しつつ、連鎖的な改善活動を続けていきたいと思っています。

が上がないという状況が続いていました。

また、梱包内容の確認は印刷した納品書や商品下げ札を慌てながら目視で行っていたため、誤送による返送処理の発生が頻発していました。さらに悪いことに、在庫不足が梱包時に発覚し、お客様にご迷惑をかけることもありました。目視による在庫管理に限界を感じた私たちは、WMS(在庫管理システム)の導入を進めることとなりました。

### 作業工程の課題と理想を 全社員が参加して見える化

2020年に「IT導入補助金」を活用し、WMSの「ロジガード」を導入しました。これで製品の在庫



「ロジガード」の在庫管理画面。製品のIDを入力すれば、どのロケ地にいる在庫があるのか確認できます。

数をパソコン等の端末から、誰でも把握できるようになりました。

しかし、バーコードを専用のハンディスキャナーで読み取るシステムなので、運用するためには製品一つ一つに、さらにロケ地や倉庫すべてにバーコードを貼り付ける必要があります。普段の業務とは異なる負担が増えることを嫌がる従業員もあり、また、社内からは慣れない作業工程が増えることに反発する意見も挙がりました。

そこで、入庫から出荷に至るまでの作業フローを「現状」と「あるべき姿」に分け、大きな模造紙に書き込んで可視化、システムを導入する意図を全員で共有しました。それにより品質向上はもちろんですが、現場作業が楽になるんだということを理解してもらえ、システム変更の理解浸透に繋がりました。



同社のロケ地。以前は段ボールが地面に散らかっていましたが、バーコードとロケ番号が割り振られたことで整備されたレイアウトに変えることができました。

## 番外編 県内企業の取組みや ツールがDXのヒントに

人手不足問題や働き方改革等への対応のため、業務のデジタル化を検討しているものの、思うように進められず、悩んでいる方も多いのではないのでしょうか。福井商工会議所が運営する「デジタル活用ビジネス支援センター」ホームページでは、デ

また、様々な場面で活用できるデジタルツールを、商品・サービスの特徴をピックアップしてご紹介しています。「手作業が多く作業者の負担が大きい」「ECサイトの制作について気軽に相談できる企業はないか」など、自社の経営課題の解決に繋がるツールやシステムが見つかるかもしれません。ぜひDXに関する情報収集にご活用ください。



デジタル活用ビジネス支援センターのTOPページ。「イチオシITツール」は導入目的別に、「デジタル化事例集」は業種ごとに絞り込み検索ができます。

本件に関するお問合せ先  
福井商工会議所  
産業技術・DX推進課  
0776-33-8252

デジタル活用  
ビジネス支援  
センターHP  
はこちら →

